

# たかとぎ川

2007・Vol.40

特・集

井戸、小川、水道…  
昔も今も湖北の暮らしを  
支える高時川の水の恵み



一枝  
冬木立

秋翠

丹生ダム広報誌

季刊 たかとぎ川

2007・Vol.40

監修：高時川治水対策協議会 発行：独立行政法人水資源機構 丹生ダム建設所

## 丹生ダムからのお知らせ

丹生ダムホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/niu>

### 湖北の冬の醍醐味 余呉湖のワカサギ釣り

北陸型の気候により雪深い余呉の楽しみにスキーとワカサギ釣りがあります。今回は冬の余呉湖の風物詩ワカサギ釣りを紹介します。



ワカサギはサケ目キュウリウオ科の魚で、銀白色の清楚な姿をしています。余呉湖のワカサギは体長が約6cmと他の湖沼のもの（平均10cm程）に比べ大変小さいのが特徴です。釣りは、「ウキ釣り」とウキなしで釣る「ミヤク釣り」がありますが、初めてでもいたって簡単です。釣ったワカサギはその日のうちに食べるのが一番です。ワカサギを水で洗い、よく水切りをして下ごしらえをしておきます。新鮮なワカサギの腹ワタは抜かなくても大丈夫ですが、気になるようなら包丁は使わず、指で腹を押してやればだいたい取れます。その後は、唐揚げ、天ぷら、マリネ、南蛮漬けなどで美味しくいただけます。

最後に、これからの季節は微風でも凍るものがない湖上で長時間風にさらされると、想像以上に体温を奪われます。防寒着、帽子、マフラー、手袋、カイロなどを準備し、家族やお友達と冬の余呉を満喫されてはいかがでしょうか。

問合せ先  
余呉湖漁業協同組合（ビジターセンター内）  
【電話】0749-86-3033  
【eメール】yp1958@cny.ne.jp  
雪による道路状況の問合せ先  
木之本インター【電話】0749-82-5052

## EVENT

余呉町

2月25日(日)

「冬芽観察とアニマルウォッチング」

- 内容 / ウッドイバル余呉周辺を散策しながら、冬芽や動物の足跡の観察をしよう。
- 場所 / 森林文化交流センター
- 問合せ先 / (財)ウッドイバル余呉 ☎ 0749-86-4145

湖北町

2月11日(日)

「第17回「グルメの集い」」

- 内容 / 湖魚は、太古よりタンパク源として重宝され、親しまれてきました。その湖魚を素材にした郷土料理が継承されています。うなぎのじゅんじゅん、フナの子造り、イサザの佃煮・鮎の焼串、しじみ汁などを賞味していただき、湖魚と湖北の食文化を堪能していただけます。
- 場所 / 朝日漁業会館
- 問合せ先 / 湖北町役場産業建設課内 グルメのついで事務局 ☎ 0749-78-8313

長浜市

1月10日(水)～3月11日(日)

「長浜盆梅展」

- 内容 / 長浜盆梅展は昭和27年から始まり、平成19年で56回目を迎えます。盆梅とは鉢植えの梅、つまり梅の盆栽のごとで、開花時期に応じ、300鉢の中から約90鉢を純和風の座敷にずらりと展示します。
- 場所 / 慶雲館（長浜市港町）
- 問合せ先 / 長浜市観光振興課 ☎ 0749-62-4111



1月10日(水)～3月11日(日)

「浅井盆梅展」

- 内容 / 樹齢数百年を越える大きな鉢植えの梅の展示。会場内には新春を感じる、ふくよかな梅の香りがたぎります。
- 場所 / 浅井ふれあいの里 プラザふくらの森（長浜市内保町）
- 問合せ先 / プラザふくらの森 ☎ 0749-74-8282



2月9日(金)～2月18日(日)

「安藤家小蘭亭の特別公開」

- 内容 / 北国街道沿いの安藤家は、秀吉公から自治を任された十人衆の一家。現在の建物は虫籠窓や紅殻格子が施された長浜を代表する近代和風建築で、北大路魯山人が幾度となく逗留しています。
- 場所 / 安藤家小蘭亭
- 問合せ先 / 北国街道安藤家 ☎ 0749-62-0742

## QUIZ

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様にプレゼントをお送りしています。

今回のクイズは…

山地を流れてきた川が平野や谷口など  
勾配がゆるやかになった部分に作る  
扇型の砂礫堆積地のことを何と呼ぶでしょうか？

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】

ハガキには「クイズの解答・住所・氏名・年齢・性別・職業」を明記してください。また「たかとぎ川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてご記入下さい。〒529-0522 余呉町坂口819（郵便番号は必ずお書きください）  
水資源機構 丹生ダム建設所 広報誌係

\*クイズの締切は平成19年1月31日(水) 付消印まで有効です。

【たかとぎ川・39号】のクイズの答え

《西》

前号のクイズに多数の御応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方々当選されました。

クイズ当選者（応募総数89枚）

板並 留蔵様 杉山 京子様 中村 清子様 藤居 弘恵様  
今村 太平様 杉山 茂夫様 中村 政子様  
片桐美智代様 鉄本 大介様 林 尊様

プレゼント申し込みの際提供された個人情報、プレゼント送付のために使用させて頂くほか、統計データとして個人識別性のない形でのみ使用します。断りなく第三者と共有したり、第三者に提供したりすることはありません。

編集後記

今回の取材のなかで、水が豊富なところも水が貴重なところも、高時川の水の恵みに対して感謝の気持ちや大切に使う心を持ちながら生活し、子ども達には水を扱う仕事を与えることによって、その心を引き継いできたのだなと感じました。今は水道の蛇口をひねると水が出てきます。私もそんな時代に生まれてきましたが、確かに両親からは「水は大切に使いなさい」と言われてきました。今、私のことを振り返ると両親と同じ思いで子ども達に「水の大切さ」を伝えられているか考えさせられます。「水」それは「命」の源とも言われています。2006年の世相を表す漢字が「命」に決まりましたが、昔からその源である「水」を大切にしている心が「命」を大切にしている心につながっていたのかなと思いつつ、「水の大切さ」を再認識し、子ども達にその心をしっかり伝えていきたいと思います。

俳句／一枝だに 身ぶるいもなし 冬木立 谷口秋翠

表紙撮影／余呉町東野